

|      |
|------|
| 資料－９ |
|------|

|                                   |
|-----------------------------------|
| 平成22年度第2回<br>北陸地方整備局<br>事業評価監視委員会 |
|-----------------------------------|

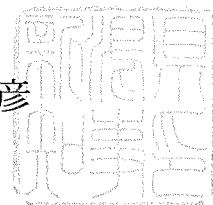
都道府県・政令市への北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)に係わる意見聴取について

監 第 2470 号

平成22年9月24日

北陸地方整備局長 様

新潟県知事 泉 田 裕 彦



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成22年9月6日付け国北整企画第33号、国北整港計第17号により照会のあった標記について、下記のとおり回答します。

記

直轄地すべり対策事業(芋川地区)

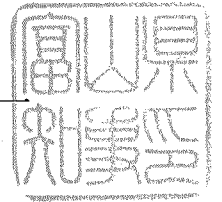
中越大震災で大きな被害を受けた地域住民の安全・安心確保のため、事業継続の必要性は認めるが、前回も回答したとおり、個別の意見照会では国土交通省関係事業全体の優先順位が判断できない。

本省の局別ではなく、一括して優先順位を付けられるようにしていただきたい。

道 第 429 号  
平成 22 年 9 月 22 日

国土交通省  
北陸地方整備局長 殿

富山県知事 石井 隆一



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 22 年 9 月 6 日付け国北整企画第 33 号、国北整港計第 17 号で  
照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

意見

事業継続に同意する。なお、今後とも、コスト縮減に努め、早  
期に効果が発現されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。

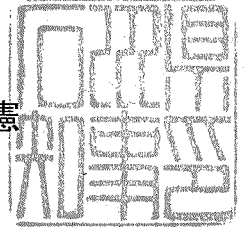
事務担当：土木部道路課計画係  
TEL076-444-3319



土 調 第 64 号  
平成22年9月24日

北陸地方整備局長 殿

石川県知事 谷本正憲



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る石川県意見について（回答）

平成22年9月6日付け国北整企画第33号及び国北整港計第17号により依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答致します。

問い合わせ先

石川県土木部企画調整室

企画 G 鈴見、小寺

電話 076-225-1709

【河川事業】

| 事業名        | 県意見                                                                                                                                                                          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 梯川直轄河川改修事業 | <p>梯川は全国の一級河川直轄区間の中でも整備が遅れている河川であるにもかかわらず、想定浸水区域内には多大な人口、資産を有しており、ひとたび洪水氾濫が生じた場合には甚大な被害の発生が懸念される。</p> <p>このため、引き続き国直轄事業として事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。</p> |

## 【石川県からの回答】

## 【道路事業】

| 事業名                | 県意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国道159号<br>金沢東部環状道路 | <p data-bbox="671 551 1398 786">国道159号 金沢東部環状道路は、金沢外環状道路山側幹線の一部を構成し、金沢都市圏の渋滞の緩和や、北陸自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成する上で、極めて重要な幹線道路である。</p> <p data-bbox="671 848 1398 1032">平成18年の山側幹線全線開通により、中心市街地の渋滞が大幅に削減されるとともに、沿道には商業施設の集積が進むなど大きな効果が現れている。</p> <p data-bbox="671 1095 1398 1279">一方で、本区間のみが2車線供用であることから、慢性的な交通混雑や多くの交通事故が発生しており、金沢都市圏全体の交通の円滑化を図る上で、早期の4車線化整備が必要である。</p> <p data-bbox="671 1341 1398 1626">特に、本県では、平成26年度北陸新幹線開業を控え、新幹線金沢開業の効果を県下全域に波及させるため、幹線道路の整備に取り組んでいるところであり、金沢東部環状道路については引き続き事業を継続するとともに、一日も早い完成供用を図っていただきたい。</p> |

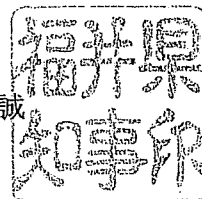


土 政 推 3 4 5 号

平成22年9月24日

北陸地方整備局長様

福井県知事 西川一誠



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

さて、平成22年9月6日付け国北整企画第33号および国北整港計第17号にて照会のありました敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナル整備事業の再評価に係る対応方針（原案）について、下記のとおり回答します。

記

- 1 敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナル整備事業の対応方針（原案）「事業継続」については異存なし。

防波堤については平成26年度までの出来る限り早い時期の完成を目指すとともに、一層のコスト縮減に努めること。

防波堤の整備にあたっては港内の波浪状況モニタリング及び荷役状況の調査を実施し、整備効果の把握に努めること。

事業効果の陸上輸送コストの削減効果算定方法において、整備しない場合の代替港を名古屋港のみとしているが、福井県内発着のコンテナ貨物の利用港湾の実態は、大阪港と神戸港の占める割合も大きいので、このようなことを考慮して、実態を踏まえた検討をして頂きたい。

- 2 その他の意見

イ 今年8月敦賀港が重点港湾に選定されたことに感謝するとともに、日本海側拠点港の選定においても引き続きご支援をお願いしたい。

ロ 事業評価監視委員会の委員選定に当たっては、地域バランスを考慮していただきたい。

新道計第 632 号の 2

平成 22 年 9 月 17 日

北陸地方整備局長 様

新潟市長 篠田 昭

(担当：道路計画課)



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 22 年 9 月 6 日付け国北整企画第 33 号、国北整港計第 17 号で依頼のありました標記  
について、下記のとおり回答いたします。

記

国道 8 号白根バイパスは、広域ネットワークとしての機能強化や本市南区市街地における渋滞の緩和・解消、交通事故の削減、騒音低減による沿道環境改善など様々な効果が期待されることから、引き続き事業を継続し、早期完成に向けて効率的かつ効果的な事業執行をお願いしたい。

問合せ先

新潟市土木部道路計画課企画係 古俣、齋藤

TEL：025-226-3041